

要 覧

平成23年度



当館所蔵「博多旧図」(「大田資料」336号)

福岡県立図書館

目 次

1	沿 革	1
2	運 営 方 針	
	(1) 基本方針	3
	(2) 平成23年度重点目標	4
3	組 織	5
4	福岡県立図書館協議会委員	6
5	予 算	6
6	施 設 の 概 要	7
7	利 用 案 内	7
8	統 計 資 料	9
9	平成22年度事業	16
10	平成22年度図書館評価	21
11	図 書 館 平 面 図	23

表紙「博多旧図」（「大田資料」336号）

作製は江戸後期で、作者は不詳。三宅酒壺洞氏によれば、博多の古図は太閤町割りが実施された天正15年（1587）を境とし、前後二期に分けられる。この絵図は後期に属するもので、「流れ」（太閤町割りの通りの総称。現在も博多祇園山笠行事に継承されている。）の様子がよくわかり、松原などの描画も興味深い。

1 沿 革

大正 4年10月 (1915年)	大正天皇御即位記念事業として、福岡県立図書館を設立することが臨時県会において可決、3か年継続事業として総経費132,240円
大正 7年 3月 (1918年)	同館落成、5月1日から一般の無料閲覧を開始 場所は現在の天神2丁目、本館は木造2階建て延べ492坪、書庫は煉瓦造り3階建て延べ120坪、蔵書は和洋書54,000冊 この建物は昭和20年6月19日戦災により焼失
昭和20年 6月30日	仮事務所を中学修猷館内に置き復興事務を開始
昭和23年 8月	県議会において本館の復興を可決し、総経費530万円をもって工事に着手し、昭和24年7月1日落成、7月4日から閲覧を開始、場所は博多区東公園内で、本館は木造平屋建て141坪、書庫は2階建て35坪
昭和35年 9月10日	県と市の間で、須崎公園の一角に文化センターを建設する話合いが進められ、知事と市長が覚書を取り交わし、市が公会堂を県は図書館を建設することを決定
昭和38年 2月	県は図書館に美術館を併置した文化会館を建設することとし、工費34,056万円をもって2月15日着工、翌39年8月15日落成
昭和39年11月 3日	文化会館が中央区天神5丁目を開館、鉄筋コンクリート4階建て、書庫地下1階、地上7階延べ7,205㎡
昭和54年12月	文化会館が図書資料の増大等により手狭になったため、新しく県立図書館を建設するための基本設計費が12月県議会において議決
昭和56年 2月	県立図書館新築工事請負契約が2月県議会において議決
昭和56年 4月21日	図書館新築工事着工（施設の概要は別記）
昭和57年12月	12月県議会において、「福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例」を一部改正し、図書館を設置
昭和57年12月27日	新館竣工
昭和58年 2月25日	落成式挙行
昭和58年 4月 1日	開館、一般閲覧開始
昭和59年11月 4日	日曜開館実施
平成 5年10月 1日	県議員会館が図書館に所管換される
平成 5年12月	県議員会館を図書館に改造するための設計費が12月県議会において議決
平成 6年 9月	図書館別館改築工事着手
平成 7年3月31日	別館竣工
平成 7年4月 7日	別館開館、一般供用開始

平成 7年 6月 2日 別館落成式

平成 7年 11月 10日 本館地下書架増設に伴う改築工事着手

平成 8年 3月 15日 同上竣工

平成 8年 3月 22日 電算による業務開始

平成 10年 5月 15日 インターネットによる図書情報提供開始
「ふくおか生涯学習ネットワーク」(福岡県立図書館所蔵和図書情報33万件
アドレス <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/>)

平成 11年 4月 1日 福岡県立図書館組織規則改正
インターネットによる図書情報提供に北九州市、福岡市加わる
(福岡県立図書館、北九州市立中央図書館、福岡市総合図書館 3館の和図書情報
計130万件)

平成 12年 3月 図書館協力車として車1台の寄贈を受ける

平成 13年 10月 別館子ども図書館増改築工事着手

平成 14年 2月 22日 同上竣工

平成 14年 4月 23日 子ども図書館開館記念式典

平成 15年 8月 ビジネス支援情報コーナー設置

平成 16年 2月 新・福岡県図書館情報提供システム稼働開始
(アドレス変更 <http://www.lib.pref.fukuoka.jp/>)

平成 17年 4月 休日開館実施

平成 19年 7月 24日 青少年と暮らしの交流室設置

平成 21年 2月 福岡県図書館情報提供システム更新

平成 22年 3月 在架予約サービス開始

平成 22年 10月 遠隔地貸出・返却サービス本格実施

2 運 営 方 針

(1) 基本方針

① 資料収集保存センターとしての機能

県民及び市町村立図書館等の要望に十分こたえるため、基本的図書館資料や新刊図書、視聴覚資料、外国資料等を収集・整理・保存して活用を図る。

② 資料情報センターとしての機能

県民のニーズ及び社会の要請をふまえ、市町村立図書館等と連携して、収集・整理した広範な資料や情報を、県民並びに市町村立図書館及び大学図書館等に対して、迅速かつ適切に紹介、提供する。

③ 郷土資料センターとしての機能

過去から現在までの福岡県の事項について書かれた資料や福岡県内で発行された資料（図書・雑誌・新聞・行政資料・古記録類・視聴覚資料など）を収集・整理し、その保存及び活用を促進する。

④ 市町村立図書館活動の援助センターとしての機能

市町村立図書館等からの相談に応じたり、職員研修等の実施により資質の向上を図り、市町村立図書館の設置促進や運営の助言を行い、あわせて福岡県公共図書館等協議会の活動を推進し、県内図書館活動の振興に寄与する。

⑤ 子ども読書活動推進拠点としての機能

子ども読書活動推進のモデル的実践の場として福岡県立図書館子ども図書館及び「青少年と暮らしの交流室」の機能を高め、市町村立図書館や子ども読書に係わるボランティアグループ等へ支援を行うとともに、学校等との連携を行い、積極的な子どもの読書活動の推進に努める。

(2) 平成23年度重点目標

- ① 資料収集保存センターとしての機能の充実のために
 - 高度化・多様化する県民の学習要求に応じた資料の収集に努める。あわせて、新しい情報通信技術を活用した資料・情報の収集等にも努める。引き続き、行政支援、ビジネス支援、教育支援、個人の自立化支援資料等を重点的に収集するとともに、青少年資料を含む子ども読書活動推進に関する資料・情報の充実に努める。
 - 日々の暮らしに直結した、身近な資料も充実させる。
 - 利用の多い英語・中国語・ハングルを中心に、外国語資料を充実する。
 - 収集資料の活用状況等を把握するなど、収集の効果等について調査研究を行い、蔵書のより一層の充実を図る。
 - 更新3年目を迎えた図書館システムについて、より一層機能を充実し、図書館サービスの向上を図る。
- ② 資料情報センターとしての機能の充実のために
 - 情報化社会における図書館サービスとして、紙媒体と電子媒体を有機的に組み合わせた情報提供に努める。特に、行政支援、ビジネス支援、個人の自立化支援のための情報提供の充実を図る。
 - 図書館情報提供システムを駆使した迅速な資料・情報提供を行い、レファレンスサービスの充実・強化に努め、利用拡大を図る。
 - 利用者ニーズの把握に努め、日々の暮らしに直結した、身近な資料を求める利用者の希望にも対応できる資料等の提供及び地域との積極的な連携に努める。
 - 録音図書室運営の充実に努める。
 - 大学図書館等との連携を図り、県民に対してより広い資料及び情報の提供に努める。
- ③ 郷土資料センターとしての機能の充実のために
 - 県民の多様なニーズに対応できるよう、福岡県に関する出版物及び県内出版資料の収集を行う。
 - 収蔵資料を整理保存し、活用を図る。
 - ホームページ等を利用した福岡県関係資料・情報の提供に努める。
 - 郷土に関するレファレンスサービスの充実・強化に努め、利用拡大を図る。
- ④ 市町村立図書館活動の援助センターとしての機能の充実のために
 - 市町村立図書館の設置促進や、経営相談に積極的に応ずるとともに、図書館運営等に関する情報の提供を行う。
 - 市町村立図書館職員及び県立図書館職員に対する研修の充実を図り、職員の資質の向上を図る。
 - 相互貸借を活発化させるための環境を整備する。
 - 図書館未設置市町村の読書活動の推進について支援を行う。
 - 市町村の公共図書館と学校との連携を推進する。
 - 福岡県公共図書館等協議会との協働体制を確立するとともに、福岡県図書館協会の充実を図る。
 - 県立図書館ボランティアとの協働を推進する。
- ⑤ 子ども読書活動推進拠点としての機能の充実のために
 - 公開図書を推奨図書として整備するために、基本図書の充実を図る。
 - 子ども達が本に親しむための取組や技術の充実を図り、先導的・実験的な役割を強化し、子供の読書活動推進に反映させる。
 - 子どもの読書に関するレファレンスサービスの充実に努める。
 - 青少年サービスの在り方を研究し、実践する。
 - 市町村立図書館等の子どもの読書活動推進支援に積極的に取り組む。
 - 県内の読書ボランティアの育成や活動支援に積極的に取り組む。
 - 学校との連携を深め、学校での子どもの読書活動の推進を積極的に支援する。

3 組 織

平成23年5月1日現在

総務課

職名	氏名	職名	氏名
課長	嘉村 知久		
副長	酒井 信行		
(本参事補佐) 事務主任	友池 之浩		
事務主任	大城 真也		

資料課

職名	氏名	職名	氏名
課長	松村 隆毅		
図書係 長	瀬尾 直美	事務嘱託	土肥 純子
事務主任	杵平 洋子	〃	東郷 晴美
事務主任	藤野 秀雄	〃	西島 聡利
事務主任	筒井 一成	〃	船津 利恵
事務主任	河野 智恵子		
逐次刊行物係 長	滝口 由美子		
(本参事補佐) 事務主任	成清 裕一		
事務主任	今坂 真由美		

参考調査課

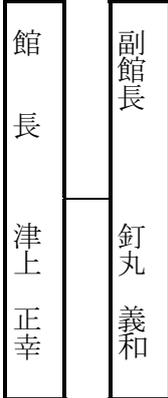
職名	氏名	職名	氏名
課長	中野 里恵		
調査相談係 長	松永 茂	事務嘱託	津中 由紀
(本参事補佐) 事務主任	岩本 文子	〃	松尾 知砂
事務主任	篠原 真由美	〃	安恒 基子
事務主任	森 弘成	〃	香野 暢子
利用者サービス係 長	齋藤 吉則	〃	新居 田文子
事務主任	高橋 依子	〃	新堀 唱美
事務主任	本田 健一	〃	田栗 谷紀乃
		〃	綿谷 友樹
		〃	山城 友樹
		〃	石井 美帆

企画協力課

職名	氏名	職名	氏名
課長	松井 恵美子		
企画係 長	鎮守 俊明	事務嘱託	柳田 朋絵
指導主任	黒田 加代子	〃	新原 淳子
主任	北島 知香	〃	北川 順子
普及係 長	坂梨 秀子		
事務主任	森部 恵子		
主任	奥野 陽子		

郷土資料課

職名	氏名	職名	氏名
課長	松尾 研一		
(本参事) 副長	森 佳江	事務嘱託	田中 のり子
(本参事補佐) 事務主任	永田 陽子	〃	西村 杉美
		〃	岡村 明子



4 福岡県立図書館協議会委員

選出区分	氏名	現職名	委員任期	摘要
学校教育関係者	葉玉 大作	福岡県立浮羽究真館 高等学校長	H23. 9. 8～H25. 9. 7	
〃	山崎 佳都子	福岡県立久留米聴覚 特別支援学校長	H23. 9. 8～H25. 9. 7	
社会教育関係者	松尾 有子	読書ボランティア	H23. 9. 8～H25. 9. 7	
〃	永利 和則	小郡市立図書館長	H23. 9. 8～H25. 9. 7	
家庭教育の向上に資 する活動を行う者	和田 敏子	福岡県PTA連合会 理事	H23. 9. 8～H25. 9. 7	
学識経験者	縄田 真澄	九州経済調査協会 事業開発部長	H23. 9. 8～H25. 9. 7	
〃	中留 武昭	九州大学名誉教授	H23. 9. 8～H25. 9. 7	
〃	葉袋 秀樹	筑波大学大学院教授	H23. 9. 8～H25. 9. 7	
〃	大島 まな	九州女子大学准教授	H23. 9. 8～H25. 9. 7	
〃	出利葉史郎	福岡県議会議員	H23. 9. 8～H25. 9. 7	

平成23年9月8日現在
10名 任期2年

5 予 算 (平成23年度)

事 項 名	金 額
運 営 費	1 2 6 , 5 1 5 千円
図書資料購入費	7 2 , 1 3 6 千円
貸出文庫運営費	5 9 5 千円
読書推進活動及び図書館普及費	5 5 1 千円
図書資料整備費及び録音図書運営費	1 , 5 1 8 千円
図書館業務委託事業費	2 1 , 0 3 1 千円
合 計	2 2 2 , 3 4 6 千円

6 施設の概要（施設平面図巻末参照）

本 館

構 造 鉄筋コンクリート造（地下1階・地上5階建）
敷地面積 3,329㎡ 建築面積 1,747㎡
延床面積 7,945㎡ 総工費 2,484,715千円

別 館

構 造 鉄筋コンクリート造（地上5階建）
敷地面積 1,653㎡ 建築面積 809㎡
延床面積 3,269㎡ 総工費 459,329千円
（内子ども図書館増築分 150㎡ 64,960千円）

7 利用案内

（1）開館時間

本 館	第1閲覧室 (1F)	午前9時～午後7時（日曜日は午後5時まで）
	青少年と暮らしの交流室 (1F)	
	第2閲覧室、新聞室 (2F)	
	郷土資料室 (3F)	
別 館	子ども図書館 (1F)	午前9時～午後5時
	学習室 (3F)	午前9時～午後7時（日曜日は午後5時まで）
	録音図書室	午前9時～午後5時

（2）休 館 日 （平成23年度）

毎週月曜日
図書整理日（毎月末日。ただし、土・日曜日の場合は開館）
特別整理期間（平成24年3月1日～3月8日）
創立記念日（4月1日）
年末年始（12月28日から1月4日）

(3) サービス内容

① 個人貸出

図書資料は貴重書・参考資料・その他規則により制限されているものを除き、貸し出しています。

貸出は利用者の住所・氏名が確認できるもの（勤務先の証明書・運転免許証・健康保険証・学生証など）の提示により登録を行い、貸出カード（発行日から3年間有効）を発行してその日から行っています。

貸出は同時に10点まで、貸出期間は15日間（貸出日を含む。）です。

② 予約サービス

借りたい図書などについて、受取窓口を指定して貸出予約をすることができます。インターネット予約サービスは、在架資料の取置予約もできます。

③ 複写サービス

資料の電子複写及びマイクロフィルムからの引き伸ばしについては、有料で応じています。

電子複写料	マイクロフィルム引伸料	1枚	10円
	モノクロ	1枚	10円
	カラー	1枚	30円

④ レファレンスサービス

日常生活の中などで起こる疑問や各種の調査・研究について、資料提供など相談に応じています。

⑤ 相互貸借による資料提供サービス

当館が所蔵していない資料については、利用者の求めにより他の図書館（県内外の公共図書館・国立国会図書館等）から借り受けて利用に供しています。

⑥ 横断検索システムによる所蔵資料の情報提供サービス

平成23年4月現在、参加43館（県立図書館含む図書館（室））で合計約1,116万冊の図書資料情報が県立図書館ホームページから一括検索が可能です。

⑦ 携帯電話によるサービス

携帯電話から、蔵書検索、新着資料一覧が見られるほか、利用者本人の貸出・予約情報の照会もできます。

⑧ 遠隔地貸出・返却サービス

当館が所蔵している資料について、利用者本人によるインターネットでの予約申込みにより、県内最寄りの図書館等で受取・返却ができます。

8 統計資料

(1) 所蔵資料

① 図書資料

(単位：冊)

	20年度末現在	21年度末現在	22年度末現在
一般	585,211	602,423	615,545
郷土	34,585	35,583	39,771
子ども	74,511	79,123	83,965
小計	694,307	717,129	739,281
貸出文庫	21,343	6,931	7,211
学校貸出セット	2,809	3,303	4,004
計	718,459	727,363	750,496

② 逐次刊行物

(単位：タイトル)

	20年度末現在	21年度末現在	22年度末現在	
雑	一般	10,650	10,721	10,865
	郷土	6,443	6,630	6,840
	子ども	149	151	161
誌	計	17,242	17,502	17,866
新	一般	287	293	293
	郷土	234	239	245
	子ども	4	4	4
聞	計	525	536	542
法令集	20	20	20	
規格資料等	4	4	4	
合計	17,285	17,791	18,432	

③ その他資料

	20年度末現在	21年度末現在	22年度末現在	
マイクロ資料	一般室	1,588 リール	1,612 リール	1,728 リール
	郷土室	5,029 リール	5,249 リール	5,348 リール
	計	6,617 リール	6,861 リール	7,076 リール
	フィッシュ	9,392 枚	11,141 枚	11,141 枚
レコード	1,227 枚	1,227 枚	1,227 枚	
ビデオ、CD-ROM等	1,328 タイトル	1,333 タイトル	1,740 タイトル	
視力障害者用録音テープ	15,623 巻	16,014 巻	16,547 巻	
AVルーム	C D	524 タイトル	524 タイトル	524 タイトル
	L D	350 タイトル	350 タイトル	350 タイトル
資料	ビデオ	24 タイトル	24 タイトル	24 タイトル
布の絵本	185 冊	194 冊	194 冊	

④ 特別コレクション

福岡県史編さん資料	795点
黒田家文書（藩政資料）	470点
大田資料（藩政資料）	554点
竹田文庫（藩儒記録）	約4,000点
諸岡家文書（怡土郡大庄屋記録）	305点
明石家文書（箱崎浦大庄屋記録）	375点
小原菁々子俳諧文庫（俳句関係資料ほか）	約1,000点
衣笠文庫（郷土資料）	1,864冊
波多江文庫（現代蒐書）	約30,000冊
杉山文庫（杉山茂丸氏・泰道氏・龍丸氏蔵書）	約1,000点
夢野久作資料（小説家遺品）	約100点
禅寺洞文庫（吉岡禅寺洞氏遺品）	774冊
河内卯兵衛資料（同氏遺品）	約6,000点
エスプラント資料（伊藤徳之助氏遺品）	約400冊
安部資料（安部幸六氏鳥類研究資料）	約400冊
萩尾映画資料（スチール及びプレス類）	約20,000点
映画資料（当館収集映画資料、ポスター、スチール及びプレス類）	14,288タイトル
方城町収集古文書（町文化財）	約1,000点
大賀（礼）家文書（大賀礼太郎氏・庄屋文書・酒造に関する文書）	約20,000点
四部叢刊（中国の善本覆刻集成）（全刊揃）	2,100冊
福岡県農業総合試験場寄託資料	178点
西日本童話博記念文庫	約1,300冊
武谷文庫（武谷元立、祐之関係書簡ほか）	約880点
谷口資料（谷口良忠氏作成・収集鉄道関係資料）	1,200点
福岡日日新聞（明治24年～昭和17年）、西日本新聞（昭和17年以降）、糸島新聞、両筑新報、朝倉新聞 その他（筑前国産物帳、益軒書簡、シーボルト「日本」、「筑前秋月藩館下之図」「正保筑前国絵図」、「柳河郭内之図」ほか貴重資料多数）	

⑤ 古文書等複製化状況（平成22年度）

i マイクロフィルム撮影 （単位：巻）

No.	文 書 名	マイクロリール数
1	大賀（礼）家文書	21
2	藤井（政）家文書	1
3	篠崎家文書	10
4	明治・大正著名人書簡資料	15
5	「香椎宮奉幣使記」ほか（準貴重資料の図書等）	34
6	飛蝗・菜殻火・リゲルほか（雑誌）	18
計		99

ii デジタル化

No.	資 料 名	点 数
1	福岡藩御当番中魯西亜人梅ヶ崎昆布蔵へ上陸之間 魯西亜船之番船并固船之図（福岡県史編さん資料665）	1

(2) 所蔵資料受入状況

① 図書資料

(単位：冊)

		21年度末現在	22年度増	22年度末現在
総記		60,160	△132	60,028
哲学		30,746	285	31,031
歴史		67,479	2,041	69,520
社会科学		129,659	3,944	133,603
自然科学		47,898	1,001	48,899
技術		44,676	927	45,603
産業		30,250	742	30,992
芸術		49,882	2,205	52,087
言語		11,183	225	11,408
文学		179,414	4,912	184,326
紙芝居		932	381	1,313
行政		29,267	1,433	30,700
郷土		35,583	4,188	39,771
計		717,129	22,152	739,281
行政資料 (再掲)	福岡県	6,145	65	6,210
	福岡県市町村	3,581	198	3,779
	国	17,156	148	17,304
	都道府県	3,410	△3	3,407

※ 貸出文庫及び学校貸出セットを除く。 ※ △は減少分。

② 逐次刊行物

		21年度末現在 タイトル数	22年度増 タイトル数	22年度末現在 タイトル数	
雑 誌	総記(G)	881	17	898	
	人文(C)	562	0	562	
	社会(S)	2,048	11	2,059	
	科学・技術(T)	2,562	24	2,586	
	文芸(L)	1,171	19	1,190	
	郷土(K)	4,041	95	4,136	
	子ども(J)	153	8	161	
	行政資料	福岡県及び 県内市町村	2,667	37	2,704
		国及び都道府県	3,576	△6	3,570
	計	17,661	205	17,866	
新 聞	一般	297	△4	293	
	郷土	241	4	245	
	子ども	4	0	4	
	計	542	0	542	
法令集		20	0	20	
規格資料等		4	0	4	
合計		18,227	205	18,432	

(3) 利用状況

① 入館者数

	20年度	21年度	22年度
入館者数	382,396(1,314)	410,022(1,395)	396,649(1,368)
年間開館日数(日)	291	294	290

※()は1日平均

*入館者計測器導入による実測値を元に推計した。また、学習室の利用者も含めた。

② 図書資料貸出状況

		20年度	21年度	22年度
登録者数 (人)	一般	78,970	82,921	87,633
	子ども	5,410	7,115	7,801
	計	84,380	90,036	95,434
利用件数 (人) <small>(相互貸借を含む)</small>	一般	64,696	80,595	87,221
	子ども	19,430	19,054	20,392
	計	84,126	99,649	107,613
貸出冊数 (冊) <small>(相互貸借を含む)</small>	一般	186,379	210,973	294,515
	子ども	68,258	73,303	92,651
	計	254,637	284,276	387,166

録音 図書	個人	登録者数(人)	476	482	485
		利用冊数(冊)	2,728	1,840	1,973
		利用巻数(巻)	14,634	8,726	8,021
団体		利用団体数	36	36	37
		利用冊数(冊)	221	37	25
		利用巻数(巻)	1,276	217	82

相互貸借	貸出(再掲)	11,364(うち県外 971)	12,559(うち県外 985)	14,942(うち県外 1,027)
	借受	2,487(うち県外 644)	3,312(うち県外 544)	3,439(うち県外 736)

貸出文庫	利用市町村数	13	10	8
	貸出冊数	19,070	10,601	2,000

③ 平成22年度貸出文庫市町村別・地区別配本状況

		市		町		村		計	
		箇所数	冊数	箇所数	冊数	箇所数	冊数	箇所数	冊数
福北 北南 筑京 計	岡州	1	200					1	200
	後	1	200	2	400			3	600
	後					1	200	1	200
	豊	1	600					1	600
	築			1	200			1	200
	築			1	200			1	200
計		3	1,000	4	800	1	200	8	2,000
年2~4回 (計37回) 配本の延冊数	一般教養図書	15,400		児童図書		21,600		37,000	

④ 資料の特別利用

		22年度
1	資料の復刻・翻刻	4件
2	資料掲載	40件
3	資料の放映	2件
4	その他（展示等）	13件
計		59件

⑤ 複写利用状況

		20年度	21年度	22年度
件数	第2閲覧室	7,824	8,022	7,324
	郷土資料室	4,038	3,673	3,856
	計	11,862	11,695	11,180
枚数	第2閲覧室	107,540	135,165	108,693
	郷土資料室	84,330	74,687	84,849
	計	191,870	209,852	193,542

⑥ 「特別複写・自写申請書」による撮影枚数

		20年度	21年度	22年度
枚数		9,751枚	1,680枚	9,197枚

⑦ 「おはなし」の時間

日時	対象	内容	実施回数	参加延人数
毎週水曜日11時	0・1・2歳	絵本の読み聞かせ ストーリーテリング 紙しばいほか	146回	3214人 (うち子ども 1848人)
〃 16時	3～5歳			
毎週土曜日14時	小学生			

⑧ 子ども情報ルームパソコン利用

		20年度	21年度	22年度
利用者数(人)		1,499	431	252

⑨ 子ども読書普及活動講師派遣状況

		20年度	21年度	22年度
講師派遣件数(回数)		28件(53回)	18件(37回)	17件(25回)

⑩ レファレンス件数

		20年度	21年度	22年度
面 談	一 般	8,423	10,307	9,989
	郷土資料室	3,240	3,552	4,023
	子ども室	1,823	2,922	2,366
	計	13,486	16,781	16,378
電 話	一 般	7,042	8,555	7,459
	郷土資料室	976	1,414	1,048
	子ども室	212	286	143
	計	8,230	10,255	8,650
文 書	一 般	327	171	199
	郷土資料室	93	76	200
	子ども室	2	0	0
	計	422	247	399
F A X	一 般	560	575	160
	郷土資料室	139	131	39
	子ども室	193	33	17
	計	892	739	216
Eメール	一 般	811	1,137	1,138
	郷土資料室	769	259	193
	子ども室	3	9	12
	計	1,583	1,405	1,343
ウォンネット [※] (所在調査用掲示板)	一 般	868	699	474
	郷土資料室	0	8	2
	子ども室	0	0	4
	計	868	707	480
合 計	一 般	18,031	21,440	19,419
	郷土資料室	5,217	5,440	5,505
	子ども室	2,233	3,250	2,542
	計	25,481	30,134	27,466

⑪ 県内公共図書館設置状況

	20年度末	21年度末	22年度末
市 立	26(28)	26(28)	26(28)
町 立	23(34)	23(30)	23(30)
村 立	0(4)	0(2)	0(2)
合 計	49(66)	49(60)	49(60)

() 内は市町村数を表示している。

⑫ 録音図書室

○沿革

昭和40年	4月	盲人用録音物等発受施設の申請を郵政省へ提出	11月認可
	11月	録音図書吹込開始	(朗読ボランティア7名)
昭和42年	4月	福岡県文化会館 盲人用テープライブラリー発足	
		蔵書 25冊 (68巻)	利用登録者 22名
昭和48年	4月	オープンリールからカセットに切り替える	
昭和50年		録音図書制作ボランティアとして「福岡県朗読奉仕者の会」	創立
昭和53年	2月	逐次刊行物「暮しの手帖」録音版発刊	
昭和53年	2月	朗読奉仕者の会会報「かけはし」創刊	
	10月	日本点字図書館団体登録が承認される	
	12月	国立国会図書館学術文献録音サービス受付機関となる	
昭和56年	9月	福岡県朗読奉仕者の会が福岡市社会福祉協議会より表彰を受ける	
昭和58年	4月	福岡県立図書館録音図書室としてスタート	
昭和63年	4月	福岡県朗読奉仕者の会が「第24回社会を明るくするフクニチ新聞社賞」を受賞する	
平成2年	6月	福岡県朗読奉仕者の会が厚生大臣表彰を受ける	
平成6年	10月	福岡県朗読奉仕者の会が福岡県教育文化功労者として表彰を受ける	
平成8年	10月	録音図書校正ボランティア養成講座開催	(平成8年度生涯学習ボランティア活動総合推進事業)
平成11年	4月	福岡県立図書館所蔵録音図書情報インターネットで提供開始	
平成16年	5月	福岡県朗読奉仕者の会が「緑綬褒章」を受章	
平成19年	12月	デイジー図書(デジタル音声情報システムによる録音図書)の貸出開始	
平成22年	4月	福岡県朗読奉仕者の会が会の名称を「福岡県立図書館音訳の会」に変更する	(平成23年4月現在 朗読ボランティア47名)

○所蔵冊数 3, 516冊(16, 547巻)

9 平成22年度事業

(1) 研修・講座等

事業名		開催月日	内 容	参加者等	
読書週間関連事業	郷土史講座	1月15日(土)	「知らなかった『亀山上皇像』の話」 岡本 顕実 氏 (元毎日新聞記者) 牟田 敏雄 氏 (湯地丈雄顕彰会代表)	一般県民 215名	
	1日図書館員体験	小学校 4～6年生	5月 1日(土) 11月6日(土)	①子ども図書館でのカウンター体験 ②おはなしの時間のお手伝いなど	小学校 4～6年生 14名
		一般 (中学生以上)	11月 3日(水)	①図書館についての概要説明 ②館内見学 ③カウンター業務体験 ④書架整理・展示物作成	一般県民 3名
	読書まつり (福岡県読書推進大会)	12月 5日(日)	講演会 講師：俳 優 児玉 清 氏 「面白小説と僕の人生」	一般県民 (540名)	
図書館講座	楽しく学べる図書館ミニ講座	9月26日(日)	①地球温暖化と異常気象 福岡大学環境未来オフィス教授 守田 治 氏	① 26名	
		10月24日(日)	②マイスターに学ぶ『珈琲と文学』 コーヒーマイスター 平田 隆文 氏	② 39名	
		11月21日(日)	③イクメン!『絵本と子育て』 ファザーリング・ジャパン九州 理事 中村 守男 氏 他	③ 38名	
創業セミナー (社)企業診断協会 福岡県支部共催事業	10月17日(日)	ビジネスプラン作成時のポイント 講師：日本政策金融公庫福岡支店 国民生活事業融資第三課長 山口 繁紀 氏	14名		
仕事と暮らしに役立つ法律セミナー 福岡県青年司法書士 協議会共催事業	6月5日(土) 7月31日(土) 9月25日(土) 10月30日(土) 11月27日(土) 1月29日(土) 3月12日(土)	よくわかる相続 遺言のすすめ! 成年後見制度を知ろう 相続・遺言リバイバル ビジネスパーソンが知って得する法律の基礎知識 日常生活に身近な法律問題セレクション 実録! 賃貸トラブル	27名 23名 33名 21名 20名 22名 13名		
公職共員図書館等 基本研修 初任者 研修会	5月31日(月) 6月 1日(火)	対象：図書館業務初任者 内容：図書館活動概論、図書館概論、図書館サービス、接遇、実習 講師：(接遇) マナーインストラクター 西藤 孝子 氏 (その他) 県立図書館職員	79名		

公共図書館等職員研修会	基本研修	中堅職員 研修	1月21日(金)	対象：図書館業務経験3年以上 内容：講義「望ましい基準とこれからの図書館像」 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授 葉袋秀樹氏 演習「図書館サービスの評価と計画の作成」 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授 葉袋秀樹氏	39名
	参考調査業務研修	新任職員	9月27日(月)	対象：1～3年程度の図書館業務経験者	38名(26館)
		中堅職員	11月29日(月)～30日(火) 12月6日(月)～7日(火)	対象：3～5年程度の図書館業務経験者	27名(18館)
	資料収集・整理研修		10月25日(月) 11月8日(月)	(1) 講話「資料収集に係る諸問題-選書・受入・整理・保存-」 講師 福岡県立図書館職員 (2) 実習「汚破損資料の簡易な補修」 指導 福岡県立図書館職員	31名
	郷土資料研修		10月18日(月)	対象：図書館勤務3年以上の職員 内容：郷土資料に関する講義、演習等	公共図書館・公民館職員等 20名
「子どもと読書」研修会	児童図書館入門講座 (全4回)	6月7日(月) 6月21日(月) 7月5日(月) 7月26日(月)	対象：児童サービス経験2年以内 内容：読み聞かせ、ストーリーテリングについての講義及び実習	公共図書館・公民館職員等 32名 (延べ127名)	
	中級講座1	12月4日(月)	対象：児童サービス経験2年以上 内容：レファレンスについての講義、演習	公共図書館・公民館職員等 14名	
	中級講座2 (全3回)	9月6日(月) 10月4日(月) 11月15日(月)	対象：児童サービス経験2年以上 内容：比較読みについての実習、研究発表	公共図書館・公民館職員等 27名 (延べ80名)	
	研究講座 (全5回)	6月14日(月) 9月13日(月) 11月1日(月) 12月20日(月) 1月17日(月)	対象：児童サービス経験4年以上 内容：読み聞かせ、ストーリーテリングなどおはなし会のための本についての班研究及び研究発表 2	公共図書館・公民館職員等 10名 (延べ79名)	
	講演会	2月28日(月)	対象：各市町村児童サービス担当者 内容：講演「江戸期子ども絵本の豊かな世界」 梅花女子大学 教授 加藤 康子 氏 事例発表	公共図書館・公民館職員等 79名	

子ども読書推進ボランティア活動支援事業	子どもの読書講演会	8月17日(火)	講演「本を読む子は必ず伸びる」 学校図書館アドバイザー 五十嵐 絹子 氏	ボランティア ・図書館職員 ・教職員等 144名
	青少年読書推進のための学校読書ボランティア研修会	8月23日(月)	講演「ヤングアダルトは何をどう読むのか」 講師:同志社女子大学 村木 美紀 氏 パネルディスカッション パネリスト 糸島市図書館司書 岩橋佳子 氏 福岡県立図書館読書ボランティア 重村さやか 氏 宗像市立赤間小学校司書 松尾 有子 氏 福岡県立太宰府高校司書 関岡 陽子 氏 コーディネーター 村木 美紀 氏	公共図書館 職員・学校 図書館職員 ・ボランテ ィア 145名
	乳幼児の読書講演会	9月9日(木)	講演「共に楽しむ子どもの本」 児童文学者 松野 正子 氏	ボランティア ・図書館職員 等 92名
	スキルアップ講座 おはなし会の持ち方 講座	10月14日(木) 10月15日(金) 10月22日(金) 11月11日(木)	講義「本を見る目を広げよう」 講師:福岡県立図書館前副館長 河井 律子 氏 実習:おはなし会のプログラム作成 講義「子どもと本を結ぶために」 講師:呉ストーリーテリングの会 代表 小林 いずみ 氏	ボランティア 29名 (延べ116名)
	スキルアップ講座 著作権講座(共通講 座)	11月11日(火)	講義「おはなし会等の著作権」 児童書四者懇談会座長 植村 和久 氏	ボランティア ・図書館職員 等 101名
	青少年の読書に関 わる人のためのス キルアップ講座 (共通講座1回・ 実習2回)	11月11日(金) 11月19日(金) 11月26日(金)	共通講座「おはなし会等の著作権」 児童書四者懇談会座長 植村 和久 氏 実習 「青少年が気になる手作りPOP講習会」 日本出版販売(株)九州支社 片山 茂 氏	公共図書館 職員・学校 図書館職員 ・ボランテ ィア 講座145名 実習 43名
	スキルアップ講座 布の絵本制作講座	11月25日(木) 12月2日(木) 12月9日(木) 12月16日(木) 1月6日(木) 1月13日(木)	布の絵本制作連続講座 講師:県立図書館ボランティア 「ゆずりはの会」 ※ 12月16日(木) 講義「さわって楽しむ布の絵本」 講師:布の絵本制作ボランティア 「ぐるーぶ もこもこ」顧問 野口 光世 氏	ボランティア 14名 (延べ71名)
	朗読等奉仕者研修会	12月17日(金)	講演・音訳実習指導「必要とされる音訳・ ボランティア活動とは-視覚障害者の求 める録音資料を考える-」 講師:全国視覚障害者情報提供施設協会録音 委員会 元委員長 恵美 三紀子 氏	音訳(朗読) 等ボランテ ィア 95名
音訳養成講座	9月の毎週水 曜日 (全5回)	録音図書製作のための技術研修	一般 14名	

(2) 大会等

事業名	開催月日	内 容	参加者等
福岡県読書推進大会 ※読書まつりと共同開催	12月 5日(日)	会場：エルガーラホール 内容： ○優良読書グループ表彰及び実演本の楽しさおとどけ便 ○講演 「面白小説と僕の人生」 俳優 児玉 清氏	一般県民 540名
第44回 福岡県地方史研究 協議大会	6月26日(土)	テーマ：福岡県の中世山城 講演 「福岡県城郭研究の現状と課題」 中村 修身 氏 (北部九州中近世城郭研究会会長) 「福岡県の城郭と年代観—近年の城郭研究を踏まえて—」 中西 義昌 氏 (城郭談話会会員・別府大学非常勤講師)	地方史に関心のある県民 134名
福岡県地方史研究 連絡協議会地区 研究集会	11月 7日(日) 10月24日(日) 11月27日(土)	筑前地区(福岡市) 「歴史散歩『福岡の戦争遺跡を歩く』を歩く」 筑後地区(筑後市) 講演会「戦国時代の日本」 豊前地区(行橋市) 研究発表「小倉・中津の城下町形成」 「夏目漱石と豊前の人々」	

(3) 郷土資料調査

	期 間	資 料 名
第1回	11月11日～1月14日	「筑前叢書」

(4) 企画展示

期 間	展 示 内 容	場 所
4月 1日～ 5月 9日	「赤毛のアンは101才！」	別館2階展示コーナー
7月20日～ 8月29日	「平城遷都1300年」	〃
10月26日～11月28日	「1960年の映画界～50年前の映画と福岡映画界～」	〃
3月15日～ 5月 8日	「100歳を超えた絵本たち」	〃

(5) 出版

福岡県立図書館要覧 平成22年度
福岡県立図書館報 (No.66)
第44回 福岡県地方史研究協議大会報告

(6) 職場体験活動等受入状況

事業名	期間	活動内容等	参加者等
中学生職場体験活動	7月28日～30日 8月11日～12日 9月14日～16日 10月20日～22日	カウンター業務（貸出・返却等） 企画協力課業務（貸出文庫整理・子ども図書館） 資料課業務（資料整理）	12名 (延べ34名) 計 4校
高校生インターシップ	7月21日～23日	カウンター業務（貸出・返却等） 企画協力課業務（子ども図書館） 資料課業務（資料整理）	5名 (延べ15名)
大学生職場体験	8月24日～25日 8月27日～28日	カウンター業務（貸出・返却等） 資料課業務	3名 (延べ12名)
図書館実習	8月16日～27日	実習生	3名 (延べ30名)
10年経過教職員 社会貢献活動	8月5日～6日	カウンター業務（貸出・返却等） 書架整理	2名 (延べ4名)
	8月16日～20日	資料課業務	2名 (延べ10名)
	8月19日～23日	企画協力課業務（貸出文庫整理・子ども図書館・おはなし会・録音図書室）	1名 (延べ5名)

(7) 福岡県公共図書館等協議会事業

事業名	期間	内容	参加者等
総会・館長等研修会	5月14日(金)	講演 「行列のできる講座とちらしの作り方」 NPO法人男女共同参画おおた 理事長 牟田 静香 氏	101名
職員研修会	第1回 8月23日(月) ※子ども読書推進ボランティア活動支援事業と共同開催	講演「ヤングアダルトは何をどう読むのか」 講師:同志社女子大学 村木 美紀 氏 パネルディスカッション パネリスト 糸島市図書館司書 岩橋佳子 氏 福岡県立図書館読書ボランティア 重村さやか 氏 宗像市立赤間小学校司書 松尾 有子 氏 福岡県立太宰府高校司書 関岡 陽子 氏 コーディネーター 村木 美紀 氏	145名

職員研修会	第2回 2月14日(月)	視察研修 ・ 久留米市立北野図書館 ・ 大木町図書・情報センター 講義 「電子書籍とこれからの図書館」 国立国会図書館関西館 電子図書館課長 大場 利康 氏	95名
理 事 会	5月14日(金) 11月12日(金) 3月11日(金)	事業計画等の検討 協議会内部の連携協力を図るための 情報交換等	
各 種 委 員 会	資料収集・保存 委員会	7月 8日(木) 12月 9日(木)	文化財調査報告書の分担保存につい て
	研修委員会	9月24日(金) 2月24日(木)	県協議会主催の研修会の企画検討
出 版		「平成22年度 福岡県公共図書館等概況」	

(8) 福岡県点字及び録音図書連絡協議会事業

事 業 名	期 間	内 容 等	参加者等
総 会	7月 2日(金)	会場 福岡県立図書館	
担当職員連絡会	11月17日(水)	会場 みやこ町中央図書館	
職員・ボランティア 研修会	2月18日(金)	会場 小郡市立図書館 講演「てんやく絵本の現状とふれあい 文庫の活動について～活動を通して 学んだこと～」 てんやく絵本ふれあい文庫代表 岩田 美津子 氏	80名

(9) 福岡県図書館協会事業

事 業 名	期 間	内 容 等	参加者等
担当者会	6月22日(火)	活動報告等	

10 平成22年度図書館評価

平成22年度図書館評価を実施し、その結果をホームページ上で公表しました。

(1) 図書館評価の趣旨

この評価は、図書館法第7条の3に基づき、図書館の運営の改善を図るため運営の状況について評価を行うものです。

(2) 評価の構成と方法

①評価項目、数値目標及び実績

福岡県立図書館の基本方針に沿って37項目の評価項目及び数値目標を設定し、22年度実績を数値化しました。

②評価基準

福岡県立図書館評価基準を定め、客観的な評価を行いました。

福岡県立図書館評価基準

目標値の達成率	評 価
110%以上	十分達成できた (◎)
100%以上110%未満	達成できた (○)
95%以上100%未満	ほぼ達成できた (△)
95%未満	達成できなかった (－)

※達成率＝22年度実績／22年度目標×100

③22年度評価方法

ア 各評価項目ごとに達成率を出し、評価基準により評価する。

イ 各機能ごとの評価項目数に占める「ほぼ達成できた」以上の評価項目数の割合を算出し、過半数以上あればその機能は達成とする。

ウ 図書館全体の総評価項目数に占める「ほぼ達成できた」以上の評価項目数の割合を算出し、過半数以上あれば図書館全体として達成とする。

(3) 22年度評価報告

各機能ごとの評価項目数、「ほぼ達成できた(△)」以上の項目数及び達成状況は、次表のとおりです。

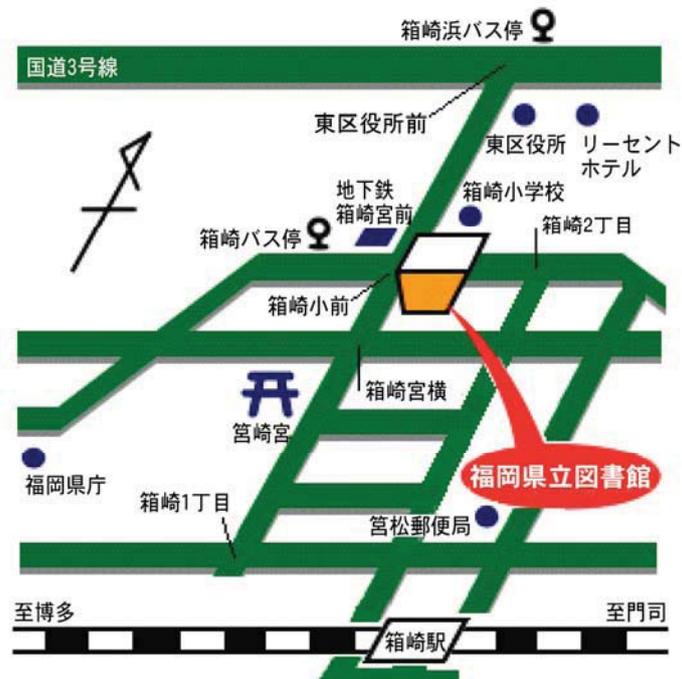
機 能	評価項目数	△以上の数	達成状況
1 資料収集保存センター機能	7	6	達成
2 資料情報センター機能	11	6	達成
3 郷土資料センター機能	6	5	達成
4 市町村立図書館活動の援助センター機能	4	3	達成
5 子どもの読書活動推進拠点機能	9	7	達成
合 計	37	27	達成

この図書館評価は、平成22年度の、本館の5つの機能（資料収集保存センター機能・資料情報センター機能・郷土資料センター機能・市町村立図書館活動援助センター機能・子どもの読書活動推進拠点機能）について評価したものです。

全評価項目は37項目で、内訳は、「◎十分達成できた」が7項目、「○達成できた」が16項目、「△ほぼ達成できた」が4項目、「－達成できなかった」が10項目でした。

「ほぼ達成できた」以上の評価が半数を超える27項目あり、図書館全体としては、ほぼ満足のいく結果であったと考えます。

福岡県立図書館



所在地

〒812-8651
福岡市東区箱崎1丁目41番12号

交通案内

- ・地下鉄「箱崎宮前」1番出口 徒歩3分
- ・西鉄バス「箱崎」 徒歩3分
- ・西鉄バス「箱崎浜」 徒歩7分
- ・JR九州「箱崎」 徒歩15分

電話案内

- ・代表電話番号 092-641-1123
- ・レファレンス 092-641-1128
- ・貸出・返却 092-641-1124

- ・総務課 092-641-1125
- ・資料課 092-641-1140
- ・参考調査課 092-641-1183
- ・企画協力課 092-641-1239
- ・郷土資料課 092-641-1126
- ・子ども図書館 092-641-1161

- ・FAX 092-641-1127
- ・E-mail kentosho@lib.pref.fukuoka.jp
- ・ホームページ <http://www.lib.pref.fukuoka.jp/>